

事業コンセプト／計画概要

Shibuya Sakura Stage

桜丘地区の玄関口を整備し、街全体の魅力向上に貢献

渋谷駅中心地区の都市基盤整備を完成させる重要なプロジェクトで、渋谷駅南西部に広がる約2.6ヘクタールの敷地を一体的に整備する再開発事業です。それぞれ2つの棟からなるSHIBUYAサイド（A街区）とSAKURAサイド（B街区）に加え、教会のあるC街区の全3街区で構成されます。

先行する渋谷駅中心地区の都市機能と連携し、渋谷駅周辺で不足する生活環境の課題を解消しながら、国際競争力をさらに強化する「働・遊・住」の機能を兼ね備えた大規模複合施設を目指します。

また、大規模ターミナル駅にふさわしい交通結節機能の強化や、歩行者の利便性・安全性・回遊性の向上を図るために、多層の歩行者ネットワークを整備していきます。



全体完成イメージ

◆ 駅と周辺市街地をつなぐ歩行者ネットワークの整備

- 街の分断や地形の高低差を解消し、周辺地区とのバリアフリーなつながりのために、渋谷駅の新たな交通拠点となるJR線の駅舎の整備に協力
- JR渋谷駅の新改札口からのアプローチとなる（仮称）北自由通路や国道246号を横断する渋谷駅西口歩道橋デッキ、都市計画道路（補助線街路第18号線）横断のための歩行者デッキなど、回遊動線を構築
- 周辺地区と連携した縦軸動線「アーバン・コア」を整備し、地下と地上を接続。駅周辺全体の回遊性の向上を図り、代官山や恵比寿といった後背地への接続を実現

◆ 国際競争力の強化に資する都市機能の導入

- 商業、業務、居住機能に加え、外国企業や外国人ビジネスマンなどのニーズに対応した国際医療施設、サービスアパートメント、子育て支援施設を導入
- 産学連携のもと、渋谷発のベンチャーを育成する起業支援施設を整備

◆ 防災性の向上および環境への取り組みを強化

- 帰宅困難者の一時滞在施設、一時滞留スペース、防災備蓄倉庫を設置
- 緑豊かな広場を整備するなど、地上、屋上、壁面などを活用した立体的な緑化を推進



建物の概要

事業主体 渋谷駅桜丘地区市街地再開発組合
所在地 東京都渋谷区桜丘町123番ほか（地番）

施行面積 約2.6ha
竣 工 2023年11月30日（予定）

● SHIBUYAサイド（A街区）

主要用途 事務所、店舗、
駐車場等
延床面積 約184,700㎡
階数 地上39階（SHIBUYAタワー）
地上17階（セントラルビル）
地下4階
高さ 約179m（SHIBUYAタワー）
約90m（セントラルビル）
デザイン
アーキテクト 古谷誠章+NASCA+株式会社日建設計
基本設計 株式会社日建設計
実施設計 株式会社日建設計
変更実施設計 鹿島・戸田建設共同企業体
（鹿島建設株式会社一級建築士事務所）

● SAKURAサイド（B街区）

主要用途 住宅、事務所、店舗、
サービスアパートメント、駐車場等
延床面積 約69,100㎡
階数 地上30階、地下1階（SAKURAタワー）
デザイン
アーキテクト 約127m（SAKURAタワー）
基本設計 古谷誠章+NASCA+株式会社日建設計
株式会社日建設計
有限会社ナスカー一級建築士事務所
（SAKURA テラス）
実施設計 株式会社日建ハウジングシステム（住宅部分）
株式会社日建設計
有限会社ナスカー一級建築士事務所（SAKURA テラス）
株式会社日建ハウジングシステム（住宅部分）
変更実施設計 鹿島・戸田建設共同企業体（戸田建設株式会社一級建築士事務所）

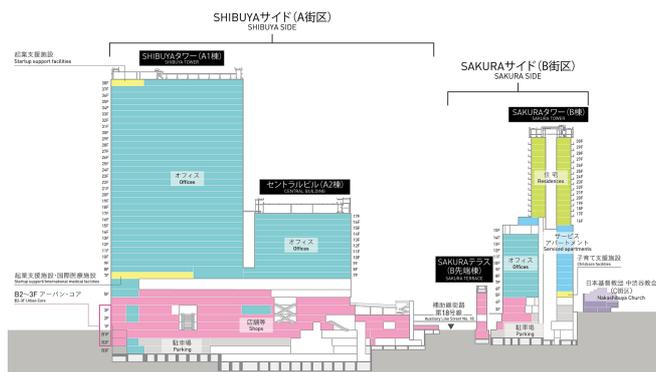
● 日本基督教団 中渋谷教会（C街区）

主要用途 教会等
延床面積 約820㎡
階数 地上4階
高さ 約16m
デザイン
アーキテクト 古谷誠章+NASCA+株式会社日建設計
基本設計 株式会社日建設計
株式会社大岡山建築設計研究所
実施設計 株式会社日建設計
株式会社大岡山建築設計研究所
変更実施設計 鹿島・戸田建設共同企業体
（戸田建設株式会社一級建築士事務所）

施設の構成と特徴

「働・遊・住」を兼ね備えた大規模複合施設

さまざまな規模の企業がフレキシブルに入居することが可能なオフィスや、最先端のトレンドやカルチャーを創出・情報発信する商業施設に加え、渋谷駅中心地区で唯一となる住宅を整備。さらに、外国人ビジネスパーソンなどに対応したサービスアパートメントや、子育て支援施設、国際医療施設、新たなビジネスの創出の場となる起業支援施設の導入を進めます。



オフィス

- SHIBUYAタワー (8-38F)
- セントラルビル (9-17F)
- SAKURAタワー (5-14F)

快適で開放感のある大規模オフィスは、3つのオフィス棟で構成。それぞれ基準階面積が異なるため、大規模な企業からスタートアップ企業まで、さまざまな規模の企業がフレキシブルに入居可能です。洗練されたデザインの空間が、オフィスワーカーのクリエイティブな発想を促します。



商業施設

- SHIBUYAサイド (B2F-5F)
- SAKURAサイド (B1F-5F)

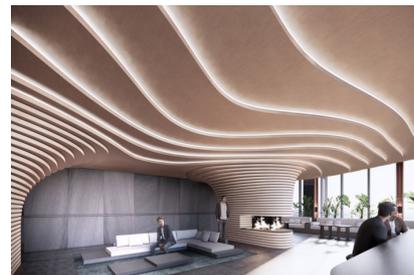
最先端のトレンドやカルチャーの創出と情報発信を担う商業施設は約15,200㎡の店舗面積を有し、多種多様なテナントが来店。デジタルサイネージやイベントスペース・広場・ブルワリーを設置し、商業施設での体験を通して多様な趣味を楽しむ人々や最先端のクリエイターが集う場所を生み出します。



住宅

- プランズ渋谷桜丘
- SAKURAタワー (16-30F)

渋谷駅中心地区で唯一整備される住宅であり、渋谷駅隣接という抜群のロケーションに、誇り高き都心のくつろぎを実現する155邸の邸宅が誕生。屋上部分には太陽光パネルを設置し、発電した電力を日中の共用部電灯の電力の一部として利用するなど、持続可能な心地よい暮らしを提案します。



サービスアパートメント

- SAKURAタワー (6-16F)

「ハイアットハウス 東京 渋谷」では、中長期滞在者や外国人ビジネスパーソンなどの多様なニーズに合わせて、快適な滞在を提供。126室の客室にはキッチンや洗濯乾燥機を完備し、ロビーエリアのラウンジ&バーでは滞在者同士のコミュニケーションを創出します。



子育て支援施設

- SAKURAタワー (5F)

「CTIS Kindergarten, Shibuya」は、オフィスワーカーのほか、中長期滞在のビジネス層や周辺居住者に向けた、2〜5歳の未就学児を抱える世代の子育てを支援する施設です。日本語、英語、中国語などに対応し、最大124人の生徒の受け入れを想定しています。



起業支援施設

- SHIBUYAタワー (38F・7F)

38階にはスタートアップ企業の発表会などを開催できるバンケットルームやプライベートルームといった上質なカンファレンス空間に、「食」のおもてなしを加えた起業支援施設を整備。7階には会員制シェアオフィス「Business-Airport」が入居予定です。



国際医療施設

- SHIBUYAタワー (7F)

外国人も含めたビジネスパーソン健康を支えるため、先端医療技術を活用した健康管理スペースと、多言語対応可能な診療クリニックを併設した国際医療施設を整備。個人の健康管理のサポートとともに、個人が従事する企業の「健康経営」を支援します。

